



今年も始まります

医師 大原 紗矢香

十月になりました。医者になってから毎年この時期に思うのは「インフルエンザの予防接種が始まるな」ということ。当院では例年通り、集団接種日を設けて対応させていただく予定をしています。

今年からの変更点としては

- ・接種対象が生後六か月以上（これまで一歳以上）
 - ・三歳以上の接種量は大人と同じ0.5ml
- 小学生以下の子供さんの場合、なるべく四週間の接種間隔を取って二回接種をお勧めするのは例年と変わりません。

インフルエンザの予防接種を受ければ、インフルエンザにかからないというわけではありません。ですが、かかる可能性は低くなりますし、かかった場合でも症状が軽く済むため、予防接種を受けることをお勧めします。

また、インフルエンザはとも感染力が強いため、家族間はもちろん、学校や会社などの人が集まる場所での集団感染をおこします。大規模なインフルエンザの流行を防ぐためにも予防接種は有効です。



幸いにも「抗ウイルス薬」というインフルエンザに直接効く薬はありますが、「耐性」と言っても薬の効かないインフルエンザウイルスの存在が知られるようになっていきます。抗ウイルス薬を使えば使うほど、耐性のウイルスは増えてきます。本当に薬が効いてほしい重症な患者さんを救えるように、症状の軽いインフルエン

ザに抗ウイルス薬を出すことを控えることは必要な対処方法です。実際、医療現場では抗生物質の効かない「多剤耐性菌」による感染症が大きな問題になっており、安易な抗生物質の処方・内服は問題となっています。

また、インフルエンザの予防接種を受ける機会に、ほかの予防接種についても考えてみられはどうでしょうか。大人の方であれば肺炎球菌の予防接種が七十五歳以上の方であれば助成の対象となっており、割安で接種することができます。

子供さんの場合には、定期の予防接種のほかに、水痘、おたふく、三日、肺炎球菌、B型肝炎、子宮頸がんの予防接種があります。特に、三日と肺炎球菌は生後二か月から受けられるため、なるべく早くから接種されることをお勧めします。

自分やご家族にどんな予防接種が必要か、ぜひかかりつけ医にお尋ねください。



休診のお知らせ

*お知らせ

来たる十月八日（土）は、日本プライマリ・ケア連合学会秋季生涯教育セミナー（東京）に出席のため休診となります。ご迷惑をお掛けしますが、予めご理解お願い致します。

十月八日（土） 休診

将来の血糖測定

看護師 宮井 由里子

ブドウ糖の濃度に応じて光る強さが変化する特殊チューブをマウスの耳に埋め込み、血糖値を継続して四ヶ月以上計ることに成功したと、東京大生産技術研究所の竹内先生たちによって発表されました。将来、人に応用できれば、糖尿病患者が採血せずに毎日の血糖値を管理したり、糖尿病予備軍を把握したりするのに役立つと言われています。

竹内先生たちは、ポリアフルルアミドというゼリー状の物質に、ブドウ糖があると光を出す別の物質をくっつけて、体内に入れても炎症などが起きにくいよう特殊なポリマーを混ぜ、直径約一ミリのチューブに加工されました。これをマウスの耳に埋め込んで観察すると、血糖値に応じて光る強さが変わり、血糖値の変化を把握できたそうです。このチューブは簡単に取り出すこともできるそうです。

毎月血糖測定の時、注射器で採血したり、指先にパチンと針をさして測定します。みなさんも毎月つらい思いをされていると思います。私たちもできるだけ痛くないように、細い針を使用したりしています。この研究が将来病院やクリニックでも使えるようになっていたら、患者さんの負担も減り、正直私たちの負担も減るかも……。一日でも早く、安心して安全で苦痛のない血糖測定ができる日を願っています。



離任のご挨拶

医師 村上 慎一郎

この五月から半年間こちらで診療所研修をさせていただいていました。長いような短いような、着任当初は慣れない部分もあり、皆さんにご迷惑をおかけしたことも多かったことと思います。こちらに着任してから、とてもたくさんの方がいました。日常の外来診療や往診も貴重な経験でしたし、東日本大震災の支援にも参加する機会をいただきました。個人的にはこの九月に結婚したりとプライベート

トでも大きな変化のあった半年でした。十一月からは再び元の大阪の病院で働く予定となっています。竜王町の皆様、スタッフの皆様大変ありがとうございました。皆さんのご健康をお祈りしています。



*お知らせ

医師の不在について

左記の日程、都合により各医師が不在となります。ご迷惑をお掛けしますが、予めご理解お願い致します。

十月三日（月）

村上医師不在

十月七日（金）

雨森院長不在

（聖マリアンナ医大にて講演のため）

十月二十八日（金）夜診 森医師不在

（聖マリアンナ医大にて講演のため）

十月二十九日（土） 森医師不在

（聖マリアンナ医大にて講演のため）

十一月十九日（土） 森医師不在

*お知らせ

経鼻内視鏡が新しく入りました

胃内視鏡検査（胃カメラ）の検査機械が、従来から当院で使用している経口（口から飲む）に加え、新たに経鼻（鼻から入れる）のものが入りました。径が細くなっており、嘔吐反射は少なくなります。ただし鼻炎など鼻の病気があったり、元々鼻の細い方は挿入不能ことがあります。また出血の止まりにくくなる薬を飲んでいる方や出血しやすい病気の方は鼻出血が起こることがあるため経鼻内視鏡の不適な場合があります。

検査前に医師と相談してどちらか選べますので、気軽に相談下さい。